

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	Fontan 循環における遠隔期腎機能障害の頻度および血行動態指標を含む多角的予測因子の検討		
1. 研究の目的と方法	<p>Fontan 手術とは、生まれつき心臓の構造に特徴があり、通常のように2つの心室で血液を送り出すことが難しい方に対して行われる手術です。全身から戻ってきた血液を、心臓（心室）を通さずに直接肺に送ることで、心臓への負担を軽くする仕組み（Fontan 循環といいます）を作ります。</p> <p>近年では、手術のあとに行う治療や管理の方法が進歩し、患者さんが長く生活できるようになり、成人期を迎える患者さんも増えてきました。一方で、手術から時間が経つと、さまざまな臓器に影響が出ることが知られており、その中でも腎臓の働きが低下する状態（Fontan 関連腎症）は、患者さんの生活の質や健康に関わる重要な問題として注目されています。</p> <p>この研究では、これまでの診療で得られた検査結果や診療記録の情報を用いて、どのような患者さんで腎臓の働きが低下しやすいかを詳しく調査します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	1992年1月1日～2025年12月31日までの間に、東京慈恵会医科大学附属病院小児科において、Fontan 手術後に心臓カテーテル検査を受けられた患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身長、体重、Fontan 手術に関する情報、血液検査・尿検査の結果、心臓カテーテル検査の結果、心エコー検査の結果、診療経過に関する情報	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 小児科学講座
		氏名	坂口 晴英
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026年5月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：助教 坂口 晴英（さかぐち はるひで） 窓口担当者：准教授 平野 大志（ひらの だいし） 電話番号：03-3433-1111（内線）3321 対応時間：平日9：00 ～ 16：00 / 休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。